

日本板硝子株式会社 日本国内主要事業所情報(2015年10月)

事業所正式名	千葉事業所	相模原事業所
住所	〒299-0107 千葉県市原市姉崎海岸6番地	〒252-5189 神奈川県相模原市緑区西橋本5丁目8番1号
設立	1964年7月	1980年7月
沿革	千葉事業所は1964年、日本板硝子初めての関東地域への工場進出として建てた建築用ガラス製造工場です。現在は建築用ガラスの素板から、強化ガラスや複層ガラス等の加工ガラスまで一貫生産が可能なMother Plantとなっています。	相模原事業所は川崎工場相模原製造所として1980年に発足し、セルフォックレンズアレイ(SLA)をはじめとする光学部品の製造拠点として操業を開始しました。1989年には自動車用ガラスの開発・試作を行うテクニカルセンターも設置されました。2004年に相模原事業所に名称を変更しました。
敷地面積(千㎡)	348	48
建物延面積(千㎡)	176	27
事業部門	建築用ガラス事業	高機能ガラス事業(情報通信デバイス事業) 自動車用ガラス テクニカルセンター
製造品目	建築用ガラス全般	セルフォックレンズアレイ(SLA)
グループ従業員数	約700名	約250名

事業所正式名	垂井事業所	四日市事業所
住所	〒503-2121 岐阜県不破郡垂井町630番地	〒510-0051 三重県四日市市千歳町2番地
設立	1959年2月	1935年5月
沿革	垂井事業所は日本無機株式会社の鉛蓄電池用パルプセパレータ製造工場として1959年に操業を開始しました。2004年に日本板硝子に合併され、現在は数種類の鉛蓄電池用セパレータを製造し、幅広く需要に対応しています。	四日市事業所は1935年に日本板硝子株式会社2番目の事業所として設立されました。建築用ガラスの製造拠点として製造を開始し、その後高機能ガラス事業製品の製造も行い、現在はSLA材料の製造を始め、新製品の開発拠点など高機能ガラス事業全般に関わる拠点にもなっています。
敷地面積(千㎡)	71	121
建物延面積(千㎡)	32	77
事業部門	高機能ガラス事業(バッテリーセパレータ事業)	高機能ガラス事業全般 建築用ガラス事業
製造品目	バッテリーセパレータ全般	SLA材料他
グループ従業員数	約150名	約250名

事業所正式名	津事業所	舞鶴事業所	京都事業所
住所	〒514-0817 三重県津市高茶屋小森町4902番地	〒625-0007 京都府舞鶴市大波下小字浜田255番地	〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町469番地
設立	1957年9月	1952年9月	1962年2月
沿革	津事業所は1957年に、日本硝子繊維株式会社が本社屋および工場を現在の津市高茶屋に移したことから始まります。1999年に日本板硝子株式会社に吸収合併され、現在は高機能ガラス事業のファンクショナルプロダクツ事業製品を中心に製造を行っております。	舞鶴事業所は1952年に建築用ガラス工場として操業を開始しました。その後自動車用ガラスの製造に移り、現在は自動車用ガラスの素板から加工ガラスまで一貫生産可能なMother Plantです。また高機能ガラス事業の内、ディスプレイ事業の製品である超薄板ガラスの生産も行っております。	京都事業所は1962年に日本安全硝子株式会社の第二工場として設立され、設立時から自動車用ガラスの加工を中心に操業してきました。1970年に日本板硝子株式会社に吸収合併され、現在でも自動車用の強化ガラスを製造しています。
敷地面積(千㎡)	116	665	69
建物延面積(千㎡)	57	282	43
事業部門	高機能ガラス事業(ファンクショナルプロダクツ事業)	自動車用ガラス事業 高機能ガラス事業(ディスプレイ事業)	自動車用ガラス事業
製造品目	グラスコード、ガラスフレーク、メタシャイン、スリーブチューブ	自動車用合わせガラス・強化ガラス、超薄板ガラス	自動車用強化ガラス
グループ従業員数	約220名	約650名	約450名